

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 YMCAカラフル 保護者等数(児童数) 10 回収数 8 割合 80 %

※各欄に合計数を記入してください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7			1		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5	1		2	個別に丁寧に対応して いただいています	今後も個別に丁寧な対応を スタッフ全員が心掛けていく
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	1		6		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	8					
	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	1		2		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	2		1	本人が希望しないことが多い	長期休みに児童クラブとの 合同プログラムを設けている が、より参加しやすいよう工 夫していく
保護者等 への説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	1				
	8 日頃から子どもの状況を保護者等と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8				いつも細かい状況までよく 聴いていただき、また報告 もありがとうございます	今後も保護者の方が相談し やすい環境を整えていく
	9 保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8					
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者等同士の連携が支援されているか	2	2	2	2		
	11 子どもや保護者等からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者等に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				気になった事はその都度 相談しています。他の保護 者から苦情があった場合 は、公表していただくと 安心です(苦情と対応)	苦情があった場合には、内 容と対応について報告でき るよう進めていく
	12 子どもや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者等に対して発信しているか	6				2	
14 個人情報に十分注意しているか	8						
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者等に周知・説明されているか	2			6		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			6		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	8					
	18 事業所の支援に満足しているか	8					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 YMCAカラフル

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		必要なスペースは確保している
	2	職員の配置数は適切である	○		法令順守した職員体制である
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		対象児童にあった設備になっている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員間で会議を持ち参画している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		2月に実施
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		3月に実施
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	今後必要であれば検討する
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的を実施
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者の面談と本人の聞き取りをもとにニーズと課題を確認し作成している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		他情報を共有している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		支援計画に基づき、子どもたちの様子や必要な課題目標に結びつくように職員で話し合い活動を決定している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		評価、課題をもとに変化を加え実施している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		それぞれの課題をもとに活動支援を実施している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		様子やそれぞれ必要な課題を踏まえ計画を作成している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		その時の状況を職員間で共通理解し、ひとりひとりを大切に支援にあっている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		その日の評価を次に繋げていけるように職員間で話をしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		活動日誌に詳細を記載後、職員間で共通理解をし次に繋げていくようにしている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的を実施
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		実施している

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	主たる職員が担当しているが、他の職員も対応することがある
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	実施している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	現在、医療的ケアが必要な児童在籍は無し
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	対象児童なし
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	必要に応じて実施している
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	実施している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	主に長期休みに実施している
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	今後必要があれば検討する
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	保護者の迎え時や、自宅の送迎時に報告している重要課題等は面談時に実施
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	実施している
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に説明を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	相談内容により、外部専門者にお願いをする場合あり
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	保護者の意見を聞きながら実施していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	苦情だけでなく、日頃の相談も受けられるように体制を整えている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	定期的実施
	35	個人情報に十分注意している	○	全職員が周知している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	配慮している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	バザー実施により地域の方に参加していただいている

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	策定しているが、今後広く周知していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的を実施
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を実施
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に説明を行っている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		現在対象児童なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		共有している

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。